

JENESYS2023 日本・フィリピン・バスケットボール交流（招へい）の記録

1. プログラム概要

【目的】フィリピン・インドネシア・日本が共同で FIBA バスケットワールドカップ 2023 を開催することを契機とし、本プログラムではバスケットボール経験のあるフィリピンの高校生を日本に招へいし、学校交流や文化体験を通じて両国の文化や慣習を理解するとともに、友情を育むことを目的とし、実施しました。加えて、日本のスポーツに対する考え方や普及活動について学び、ASEAN 諸国でのスポーツの発展を考える機会としました。

【参加者】

バスケットボール経験のある高校生及び引率者 計 12 名
（内訳）高校生 10 名 引率者 2 名

【訪問地】東京都 12名、秋田県 12名

2. 日程

■ プレプログラム（オンライン事前学習）：

8月8日（火曜日） 【ウェビナー・質疑応答】テーマ理解講義
「日本 ASEAN50 年の歩み」

講師：外務省アジア大洋州局地域政策参事官室 首席事務官
矢澤 英輝 氏

8月9日（水曜日） 【講義（収録）】「日本と国連」

講師：外務省総合外交政策局国連政策課 首席事務官 金戸 健太郎 氏

8月21日（月曜日） 【来日前オリエンテーション】

指定期間 【課題学習（動画配信）】「ホームビジット体験」、「被災地訪問」、「ホストタウン」、「日本語」

■ 招へいプログラム：

8月28日（月曜日） 成田国際空港より入国

8月29日（火曜日） 【視察】都議会・都庁展望台

【来日時オリエンテーション】

【テーマ関連講義】「日本のスポーツ振興とバスケットボールの取り組み」

講師：

- 学校法人中央大学文学部 准教授 向山 昌利 氏
- 公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ 執行役員 松尾 康弘 氏

【視察】明治神宮、原宿（ポップカルチャー）

8月30日（水曜日）

【視察】浅草

【学校交流】学校法人大東文化学園大東文化大学第一高等学校

8月31日（木曜日）

東京都から秋田県へ移動

【自治体訪問】秋田県能代市役所

【テーマ関連視察】能代バスケミュージアム

9月1日（金曜日）

【視察】なまはげ館（男鹿市）

【学校交流】秋田県立能代科学技術高等学校

9月2日（土曜日）

【対面式・ホームステイ】秋田県能代市、藤里町

9月3日（日曜日）

【ホームステイ・ホストファミリー歓送会】

【ワークショップ】報告会準備（訪日成果のとりまとめ、SNS 発信状況等確認、アクション・プラン作成）

9月4日（月曜日）

秋田県から東京都へ移動

【報告会】

9月5日（火曜日）

成田国際空港より出国

3. プログラム記録写真

プレプログラム（オンライン事前学習）

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>8月8日【ウェビナー・質疑応答】テーマ理解 講義「日本 ASEAN50年の歩み」</p> | <p>8月9日【講義（収録）】「日本と国連」</p> |

招へいプログラム



8月29日【視察】都議会・都庁展望台



8月29日【テーマ関連講義】「日本のスポーツ振興とスケッチボールの取り組み」



8月29日【視察】明治神宮



8月30日【視察】浅草



8月30日【学校交流】学校法人大東文化学園大東文化大学第一高等学校



8月31日【自治体訪問】秋田県能代市役所



8月31日【テーマ関連視察】能代バスケットミュージアム



9月1日【視察】なまはげ館（男鹿市）

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>9月1日【学校交流】秋田県立能代科学技術高等学校</p> | <p>9月2日【ホームステイ】1日目</p> |
|  |  |
| <p>9月3日【ホームステイ】2日目</p> | <p>9月3日【ホームステイ】【ホストファミリー歓迎会】</p> |
|  |  |
| <p>9月3日【ワークショップ】報告会準備</p> | <p>9月4日【報告会】終了証授与</p> |

4. 参加者の感想（抜粋）

◆ 高校生

講師の方はじめ関係者の皆さんはとても専門性があると感じました。そして、学校交流は素晴らしい経験になりました。最初の学校交流では、キャンパス内を案内してもらいました。ホームステイのホストファミリーは大変素晴らしかったです。バスケットボールの親善試合は、楽しく忘れがたいものとなりました。日本のバスケットボールプレイヤーは、控えめでありながら親切で、彼らと共にプレーすることは素晴らしい経験でした。彼らのスキルとチームワークに感銘を受けました。なまはげの伝統は驚きで、独自の文化であると感じました。そのパフォーマンスは本当に印象的で、日本の文化に触れる貴重な機会でした。歓送会のホストファミリーと地元の方によるパフォーマンスは、日本人の方と親しくなるきっかけとなりました。彼らの熱意とおもてなしに感銘を受け、新しい友達を作ることができました。日本の気候は清々しく、建

物と自然が調和していて、気持ち良かったです。日本の美しい風景に囲まれることができ、本当に幸せでした。日本への訪問は素晴らしい思い出となり、日本人の文化と人々に深い尊敬と愛情を抱いています。

◆ 高校生

私の好きなプログラムはホームステイでした。それはまさに目を見張るべき体験でした。このプログラムを通じて、私は日本の人々、特に地方に住む人々が非常に控えめな生活を送っていることを学びました。

◆ 高校生

秋田県立能代科学技術高等学校とのバスケットボールの試合は、私にとってとても印象的でした。なぜなら、それは国際試合の雰囲気味わうことのできたまたとない機会だったからです。この試合を通じて、高校の施設が素晴らしく、生徒たちは私たちを温かく親切に迎え入れてくれました。

5. 参加者の対外発信（抜粋）

| | |
|---|---|
|  <p>August 29 Tokyo Metropolitan Assembly and Observatory</p> |  <p>FUJISATO-MACHI YAMAMOTO-GUN, AKITA, JAPAN</p> <p>We will miss you host family ❤️</p> |
| <p>2023年8月29日（Facebook） 都庁議事堂と展望台</p> | <p>2023年9月3日（Instagram） 秋田県大和郡藤里町 ホストファミリーの皆さん。皆さんと別れるのは寂しいです。</p> |

6. 報告会での帰国後のアクション・プラン発表（抜粋）

招へいプログラム

※2 グループが発表

| | |
|---|--|
|  |  |
| <p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 日本と自国の教育制度の違いを学びました。 ● 地方訪問で地方文化（なまはげ）を学び、食（きりたんぼ）を体験しました。その他、日本文化の和服や温泉を体験しました。 ● 公務員の役割を学びました。 <p>【バスケット交流での学び】</p> <p>日本のバスケットボール選手は、基礎を堅実にしっかりと習得し、チームとして効率的に動くことを特長としています。チームワークは非常に優れており、個々の選手がボールハンドリングよりもシュートなどのスキルをあげることを重要視しています。</p> | <p>【訪日中の学び】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 東京都及び能代市役所の行政としての役割 ● 高校生のマナーの良さ ● なまはげ（男鹿市）の伝統 ● 人を育てる土壌、文化の豊かさ（ホームステイ） <p>【バスケット交流での学び】</p> <p>能代市は、バスケットボールを通じて地域振興に取り組んでおり、その象徴として能代バスケットミュージアムが存在します。この取り組みは、多くの観光客を魅了しています。能代科学技術高校のバスケットボール部との交流試合では、日本のチームは、基本を理解し、無駄なパス回しをせず効率よく動いていることが印象的でした。さらに特筆すべきは、勝利するためだけの卑劣な手段を使わず、スポーツマンシップにたった清廉なプレー姿勢であったことです。</p> |
| <p>【アクション・プラン】</p> <p>日本・フィリピン・バスケット交流の参加者が集まりバスケットのイベントを帰国後 3 か月以内に実施します。</p> <p>マニラ近郊でバスケットコートを借り、日本（秋田県能代市）で学んだバスケットボールのプレイスタイルやスキルを披露します。15 歳以下の子どもも対象者にし、自国の子どもたちにバスケットを広め、啓蒙することを目指します。</p> | |

実施団体名：一般財団法人日本国際協力センター（JICE）